



現役高校生、デリースが教えてくれる 嘉手納基地内学校情報あれこれ

PART 6

嘉手納基地広報局インターン生
嘉手納ハイスクール3年 デリース・ダニエルズ著・編集

Thanksgiving and Christmas

11月、12月はアメリカ人にとって一年で一番忙しい時期です。11月の第四木曜日には感謝祭と言うイベントがあり、12月には日本人も馴染みの深いクリスマスがあります。

感謝祭とはアメリカがイギリスから独立する前、開拓者たちがその地域に住んでいたネイティブ

アメリカンの人々に助けてもらつたため、そのお礼に七面鳥をご馳走したと言う伝説から始まつた行事です。



12月25日は皆さんもお馴染みのクリスマスです。日本でクリスマスというとサンタクロース、真っ赤なお鼻のトナカイやクリスマツリーなどが連想されますが、クリスマスはもともとイエス・キリストの誕生日を祝うイベントだったそうです。しかし実際のキリストの誕生日かはわかりません。

この様に11月と12月はとても忙しい時期ですが、私たち、カデナハイスクールではそれぞれのイベントを盛大には祝いません。アメリカの学校というとクリスマスは盛大に言われると思われがちですが、そうではありません。

感謝祭では何のデコレーションもしませんでした、でも唯一した事は、缶詰の食品を集めたことです。集めた缶詰はホームレス、託児所や教会に送られます。カデナハイスクールでは毎年一年の感謝と来年の健康と幸せの為に缶詰の食品を集めます。

アメリカの学校では、クリスマスを祝う事は少ないです、なぜならクリスマスはキリスト教の祝い事なので他の仏教の生徒は見えなくなり生徒達の自由と公平を保つ為です。カデナハイスクールでもは通常クリスマスデコレーションは一切しません。ですが今年カデナハイスクールでは学校の廊下をクリスマスぼくデコレートするイベントが12月の17日と18日に開催されます。今年はいつもとは違うクリスマスの気分が味わえそうでとても楽しみにしています。



カデナハイスクールの美術、音楽、演劇

カデナハイスクールではアートの単位取得科目があります。アートは最低でも1年間必修となっています。生徒は自分に合った科目を選ぶことができ、その選択肢はたくさんあります。

一口にアートと言っても美術、音楽、演劇があります。美術でも5つ以上の授業を選べます。「基礎アート」、「彫刻」、「写真・カメラ」、「描画」や「スタジオアート」などから選択できます。「写真」以外の科目は、先ず「基礎アート」を半年間受講した後、受講できます。

音楽も色々な授業から選べます。「ピアノ」、「ギター」、「合唱」、「バンド」、「マーチングバンド」、「ジャズバンド」などがあります。一つ一つの授業は初級、中級、上級、アドバンスとわかっています。大体の生徒達は自分が一番好きな音楽のクラスを決めるときその授業を4年間受ける生徒が多いです。

(次ページへ続く)

カデナハイスクールでは演劇と言うクラスがあります。そのクラスでは学期ごとに劇を学校で披露します。演劇のクラスをとっている生徒達は、将来女優や俳優になりたいと思っている人も多く、授業だけでなく放課後も練習を重ねています。

カデナハイスクールでのアートの授業は、クラスルームにとどまりません。毎年春に、音楽と演劇の大会が行われます。この大会には、クバサキハイスクール、(在韓国)ソウルアメリカンハイスクールなど太平洋にある米軍基地のハイスクールが参加します。音楽大会にはオーディションで選ばれた生徒しか行くことができません。この大会でベストバンドが選ばれます。演劇では、それぞれの高校が演技力を競います。最後に美術部門ですが、毎年冬に学習発表会のようなものがあります。また学内選考があり、自分の一番好きなアートの技術を学びに行く機会を獲得する生徒もいます。



College Night



11月1日木曜日午後7時～9時の間、カデナハイスクールで "College Night" (カレッジ ナイト) というイベントが開催されました。College Night は様々な大学の関係者や卒業生などが集まり、その大学のシステムや特徴、良さなどを高校生に直接説明できるイベントです。ハイスクールのキャフェテリアと体育館の2箇所にブースが設置され、120もの大学団体の卒業生や大学の代表者が訪れた高校生にアドバイスをしていました。嘉手納基地にも事務所を常設しているフェニックス大学、メリーランド大学の関係者はもちろん、スタンフォード大学、エール大学、カリフォルニア州立大学ディビス校などの卒業生（米軍関係者）がボランティアで高校生の質問に答えしていました。

このような大学の説明会は毎年行われ、カデナハイスクールとクバサキハイスクールが協力して主催し、毎年交互に開催場所が代わります。今年はカデナハイスクールで開催されました。

参加者は基地内の高校生を対象にしていますが、日本の高校生も基地に入ることができる生徒はだれでも参加は可能です。また、立命館アジア太平洋大学やテンプル大学という日本にある国際大学もこの説明会に参加していました。

大学の他にも、各軍隊のリクルーター（軍人募集係り）、学費援助をしている団体（例えば海兵隊地域サービス事務所、軍人配偶者の会など）などもブースをだし質問に答えていました。このイベントの一番の目的は高校生に大学の良さを教えるだけではなく、高校生自身が、大学入学までの手続きや、学費の支払い方など様々な質問に対するアドバイスを受けることが最大の魅力となっています。

生徒達は大学の卒業生に学生生活などについて色々と質問をしていました。単位をどうしたら落とさずに卒業できるのか、学生寮での生活、その大学の魅力、クラブ活動、スポーツの試合観戦での様子など色々な質問を前もって用意し、大学関係者や卒業生からの具体的な話に聞き入ってました。

以前にも話したようにカデナハイスクールは4学年あり、今回のイベントに、高校3年生と4年生が多く見られました。高校生はSAT (Scholastic Aptitude Test) かACT(American College Test)を受験し、その結果もふまえて進学先を決めていきます。早めに大学入学願書を提出した生徒は11月に、また遅くとも1月頃までは大学側からの受け入れ可否の連絡がきます。アメリカでは三学年までには自分の志望大学をキチンとはっきり決めておくようにと学校で指導があります。そのため多くの3年生がこの説明会に参加し自分の希望校を見つけるため沢山の質問をします。4年生は、もう後8ヶ月で卒業ですので、この説明会に参加することで一年後には実際大学へ進学し勉強するという自覚が強くなつたはずです。少なくとも私は進路のことで頭がいっぱいなのでこのイベントは大変役に立ちました。



以上、でした。See you!